

生活支援コーディネーター発行

# 地域の支え合い通信

麻生・篠路茨戸・太平百合が原・拓北・あいの里

地区版



2019年



12月  
第9号

## 地域の社会資源の調査・取材をしています！

生活支援コーディネーターは、支え合い活動の推進のほか、地域にどんな社会資源が存在しているか把握し、把握した資源を、地域を訪問する時や、関係機関との打合せの際にご紹介し、お困りごとの解決に繋がるように活動しています。

昨年度から引き続き今年度も、麻生地区、篠路茨戸地区、太平百合が原地区、拓北・あいの里地区にある社会資源の把握を継続しています。

昔は当たり前が多かったご近所同士の気に掛け合いも、世帯構成が変化したり、少子化が進むにつれ、ご近所付き合いの形も変化し、気軽に困り事を話し合うような関係性は、昔と比べると薄れてきている昨今ですが、一方で、社会資源を調査していると、身近に、そして意外なところに支え合いがあることも見えてきました。地域の資源をうまく活用しながら、ご近所の方やご友人と情報交換ができ、「困ったときはお互い様」の気持ちが再び広まっていくよう、情報を収集し、ご紹介できるようまとめています。

これまで電話や訪問取材を行い、掲載させていただける企業やボランティア組織の情報を一覧にした便利手帳を作成しています。

この便利手帳が皆様のお役に立つことができるよう、他にはないオリジナルの生活応援便利手帳の発行を目指しております！



## 麻生エリア

令和元年度 10月7日(月)「パストラ  
ル麻の実会」、9日(水)「創成西英寿会」、  
14日(日)「喜楽会」をご訪問させていた  
だきました。各々のクラブの特長を知るこ  
とができたほか、互いを気に掛け合う支  
合いの気持ちが共通にあることを感しま  
した。また、12月19日(木)は、福ま  
ち事業の一つ「あさぶキラキラタイム」を  
訪問し、お母さんとお子さん方の楽しそ  
うな笑顔をたくさん見る事ができました  
!



## 太平百合が原エリア



社会福祉法人ら・せれな、株式会社ツクイ  
太平に訪問し、お話を伺ってきました。施  
設の地域交流スペースにて認知症カフェ  
を開催したり、体操教室では専門職が派遣  
され、専門的な講話が聴ける等、地域にと  
って、どんな支援が必要であるのか、それ  
ぞれの施設が地域との関わり合いについ  
て考えていることを把握できました。

## 拓北・あいの里エリア

社会資源の調査にて、ペットの訪問看護  
を行っている「わんにゃん訪問看護ぴりか  
のもり」さんを、訪問取材させていただきました。  
飼い主さんだけでなく、ペットも  
高齢化し、病気になったり、一緒に住めな  
くなるなど、ペットと同居している各家庭  
が抱える様々なお悩みのご相談にのって  
くれ、介護疲れや、出張等で家を留守にす  
る時等、状況に合わせた対応をしてくれる  
ことが分かりました。代表

青山さんの、動物を想う  
やさしい気持ちが取材  
を通して伝わって  
きました。



## 篠路茨戸エリア

篠路茨戸地区において、地区社会福祉協議  
会と共同主催で、福まちパワーアップ事業  
を実施しています。令和元年11月21日  
(木)、25日(月)、28日(木)、12月  
6日(金)、11日(水)に各ブロック別に  
ワークショップを実施し、高齢者を気に掛  
ける見守り活動というテーマに沿って、意  
見交換を行いました。移手段のニーズが  
挙がったブロックもあり、支援の手が必要  
な地域にアプローチしていく必要性を把  
握することができました。



【お問い合わせ先】

札幌市北区社会福祉協議会

札幌市北区北24条西6丁目北区役所 1階

☎757-2482

担当) 生活支援コーディネーター 中村

